

氏名	原 功 一
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 6 6 3 号
学 位 授 与 の 日 付	昭 和 50 年 3 月 31 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	葉酸欠乏症の原因に関する研究 第 I 編 妊婦の葉酸欠乏 第 II 編 各種食品の葉酸含量と調理による破壊について
論 文 審 査 委 員	教授 大 藤 真 教授 小 坂 淳 夫 教授 水 原 舜 爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

葉酸欠乏症の原因のうち妊娠によるものが本邦では最も多い。しかし葉酸欠乏症そのものの頻度は低くその原因として食事中的葉酸の量が問題となる。

第 I 編では妊婦 100 名の妊娠経過中の貧血，鉄，ビタミン B₁₂，葉酸の動態を調べ，鉄剤投与と葉酸剤投与の比較を行い，日本人妊婦の貧血はほとんど鉄欠乏であるが，潜在性の葉酸欠乏も多くみられることを明らかにした。

第 II 編では *Lactobacillus casei* 法により 147 品目の食品について葉酸含量を測定し，日本人の常食する野菜，魚介類などは葉酸を豊富に含有していることを示した。またこれらの葉酸は煮沸により相当量が破壊され，とくに Free Folate の方が Total Folate より破壊され易いことを示した。また Pteroylglutamic acid は煮沸により破壊されないことを明らかにした。2 つの病院の食事中的葉酸量は Free Folate 205, 305.5 $\mu\text{g}/\text{day}$, Total Folate 839.8, 738.1 $\mu\text{g}/\text{day}$ であることを示し，欧米の報告に比べて多く，また 1 日必要量が米のみから十分供給されていることから，米を主食とする日本人の均一的な食習慣のため日本に葉酸欠乏の高度になるものが少ないと考えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は，葉酸欠乏症の原因を食品中葉酸の含量から研究したものであるが，従来十分確立されていなかった本症の実態について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。